

法 学 第 437 号

平成 28 年 8 月 8 日

各 私 立 学 校 長 様

(小・中・高・特)

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

平成 28 年度学校教育の情報化指導者養成研修の実施について

このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

なお、受講を希望される場合は、別紙「推薦名簿」に必要事項を記入のうえ、平成 28 年 9 月 2 日（金）までに当課宛て提出願います。

【担当】私学振興担当 中村

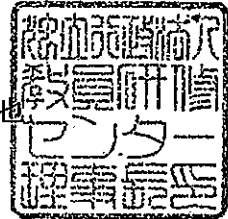
電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

独教事教第84号  
平成28年7月29日

各都道府県知事  
附属学校を置く各国立大学法人の長 殿

独立行政法人教員研修センター  
理事長 高岡 信也



(印影印刷)

平成28年度学校教育の情報化指導者養成研修の実施について (依頼)

日頃より、独立行政法人教員研修センターの研修事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。

当センターでは、標記研修を、別添の実施要項に基づき実施します。

については、受講者の推薦がある場合は、別添の実施要項中「6 受講者(3) 推薦手続」によらず、別紙「推薦名簿」を平成28年9月9日(金)までに、電子メールにて、事業部教育課題研修課あてにご提出ください。実施要項、推薦名簿等は、当センターホームページ (<http://www.nctd.go.jp/>) よりダウンロード可能となっております。

また、本研修の受講者が、研修修了後、受講した研修内容をそれぞれの地域、学校において、適切な方法により幅広く活用していただくよう、格段のご配慮をよろしく願います。

本件連絡先

独立行政法人 教員研修センター  
事業部 教育課題研修課 教育課題第一グループ  
(瀧澤、河田、数見)

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

学術総合センター11F

TEL 03-4212-8460

FAX 03-4212-8466

E-mail:kyouiku1-1@nctd.go.jp

岩手県

28.8.-8

法第

号

## 平成28年度 学校教育の情報化指導者養成研修 実施要項

### 1 目的

各教科等における効果的な指導方法の開発、校務の効率化や学校経営の改善等を進めるため、地域や学校の実態に即して学校教育の情報化を組織的に推進することが重要である。

このため、ICTを活用したわかる授業を展開するための手だて、特色ある教育課程の編成や学校課題解決のためのICT活用戦略づくり等、教育活動の質の改善を円滑に行うため、各学校や地域における研修のマネジメントを推進する指導者として必要な知識等を習得させ、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言等を行うことのできる指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人教員研修センター

3 共催 文部科学省

4 期間 第1回 平成28年10月24日(月)～平成28年10月28日(金)  
第2回 平成29年1月30日(月)～平成29年2月3日(金)

5 会場 独立行政法人教員研修センター  
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

### 6 受講者

#### (1) 受講資格

都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者(学校教育の情報化のための整備活動に関わる者を含む)であって、各地域において本研修内容を踏まえた管理職等への説明や学校の指導助言等の指導者としての活動を行う者

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校並びに特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭であって、各地域において本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者

なお、女性教職員の更なる活躍が期待されることから、当センターとしては、女性教職員の受講者の一層の増加を目指している。

#### (2) 推薦人数

各回、各都道府県(中核市分を含む)、各指定都市それぞれ1名程度とする。

#### (3) 推薦手続

各都道府県・指定都市教育委員会において推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により、平成28年9月9日(金)までに推薦を行う。

#### <講義・事例発表・演習2における設置予定教科別部会>

①国語、英語(小学校外国語活動を含む)、②社会(地理・歴史、公民を含む)、③理科、生活、④技術・家庭、保健体育、⑤情報・数学(算数を含む)、⑥図画工作、美術、音楽、芸術、⑦商業・工業・その他の専門教育

#### <講義・事例発表・演習3における設置予定教科別部会>

①国語、②社会(地理・歴史、公民を含む)、③算数・数学、④理科、⑤英語(小学校外国語活動等も含む)、⑥①～⑤以外の教科等(情報、音楽、美術、技術・家庭(技術)などの教科等)

- (注)・以上のいずれについても、希望者数を勘案し、各部会の設置の有無を決定する。  
・推薦者が行政系職員で教職経験がない場合であっても、教科等希望を必ず記載すること。

#### (4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦に基づき、独立行政法人教員研修センターが決定し、通知する。

### 7 研修内容

別紙「日程表」のとおりとする。演習や協議については、20名の単位（ユニット）を基本として取り組む。

なお、第1回・第2回とも、日程は共通であるが、第1回では、主に学校におけるICT環境の整備が進んでいない地域・学校を対象とした研修を実施し、第2回では、学校におけるICT環境の整備がある程度進んでいる地域・学校を対象とした研修を実施する。

### 8 事前課題等

#### (1) 事前学習

ア 文部科学省発行の冊子「教育の情報化に関する手引」を読んでおくこと。

手元にない場合、文部科学省ホームページ（アドレス等下記参照）に掲載されているので、参照する。

文部科学省ホームページ（<http://www.mext.go.jp/>）→ 教育 → 小学校、中学校、高等学校 → 教育の情報化の推進 → 「教育の情報化に関する手引」について（[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/1259413.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1259413.htm)）

イ 独立行政法人教員研修センターが指定するホームページにアクセスし、事前学習用コンテンツを視聴すること。詳細は受講者決定の際に通知する。

#### (2) 事前課題（演習「各地域における学校教育の情報化推進の現状と課題」）

演習で使用するため、受講者は事前に次の資料を作成する（別紙様式）。提出方法等詳細については、決定通知の際に連絡する。

都道府県・指定都市・中核市・学校等における現状と課題について、「教科指導におけるわかりやすい授業づくりのためのICT活用」「よりよい学校づくりのための校務の情報化の進め方」「情報教育による情報活用能力育成のための指導」「学校における情報モラル教育と地域・家庭との連携」「その他学校教育の情報化推進についての現状と課題」の視点で別紙様式に整理する。

### 9 その他

(1) 所定の課程を修了した者については、修了証書を授与する。

(2) 本研修は、原則として宿泊研修とし、独立行政法人教員研修センターの宿泊施設を利用するものとする。

(3) 本研修終了後、受講者アンケート等を行う。また研修終了から一定期間（約1年）経過後に、研修成果の活用について、受講者に対するアンケート調査を行う。



演習:「各地域における学校教育の情報化推進の現状と課題」

都道府県・ 政令指定都市		受講者番号	
-----------------	--	-------	--

<b>1 教科指導におけるわかりやすい授業づくりのためのICT活用</b>
<input type="radio"/> 現状
<input type="radio"/> 課題
<b>2 よりよい学校づくりのための校務の情報化の進め方</b>
<input type="radio"/> 現状
<input type="radio"/> 課題
<b>3 情報教育による情報活用能力育成のための指導</b>
<input type="radio"/> 現状
<input type="radio"/> 課題
<b>4 学校における情報モラル教育と地域・家庭との連携</b>
<input type="radio"/> 現状
<input type="radio"/> 課題
<b>5 その他学校教育の情報化推進についての現状と課題</b>
<input type="radio"/> 現状
<input type="radio"/> 課題

注1)A4判2頁以内とする。都道府県名、受講者番号を必ず記入すること。

注2)演習で必要と思われる補助資料等がある場合は、7部(グループ内配布用)を持参すること。

平成28年度学校教育の情報化指導者養成研修推薦名簿

都道府県市・  
国立大学・学校名等

希望 受講 回数	推薦 順位	氏名	フリガナ	年齢 (※注1)	生年月日 (和暦)	性別	所 属				班分け 希望学 校履(注 2)	演習2教科 (※注3)		演習3教科 (※注3)		担当 学年 (※注 4)	備考		
							職 種	郵便番号	所在地	学校種		電話番号	第1希望	第2希望	第1希望			第2希望	①その他1を 選んだ場合
<記入例>																			
1	1	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□	S45.07.20	男	□□□□教育委員会□□課	係長	000-0000	00市00 0-0-00	教育委員会	00-0000-0000	小	①国語、 英語、 ②社会	②社会	①国語	②社会		
1	2	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□	S43.09.01	女	□□□□県立□□□□高等学校	教諭	000-0000	00市00 0-0-00	高等学校	00-0000-0000	中	⑤情報、 数学	①国語、 英語	①国語	②社会		
2	1	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□	S41.05.01	男	□□□□教育委員会□□課	指導主事	000-0000	00市00 0-0-00	教育委員会	00-0000-0000	中	①国語、 英語	②社会	①国語	②社会		
2	2	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□	S34.12.04	女	□□□□市立□□□□中学校	校長	000-0000	00市00 0-0-00	中学校	00-0000-0000		⑦商業・ 工業・そ の他の専 門科目	⑦商業・ 工業・そ の他の専 門科目	⑧その他	⑧その他	1.高等学校 の情報、2 技術・家庭 技術(技術)	

担当者氏名	所属郵便番号
担当者フリガナ	所属所在地
所属電話番号	所属名称
所属FAX	e-mailアドレス

- 注1) 年齢は、平成28年4月1日現在で記入してください。
- 注2) 教育委員会所属の指導主事等、特別支援学校の教諭等、中等教育学校の教諭等については、班分けの際に希望する学校種(「小」、「中」、「高」のいずれか)を記入してください。
- 注3) 実施要項6(3)の設置予定部会 演習2①～⑥のうち、参加を希望する分科会の番号を第二希望まで記入。演習2⑦および演習3⑥の分科会を記入する場合は、必ず「①その他」を記入。また、「①その他」を記入する場合は、技術分野もしくは、家庭分野のどちらかを記入。また、異なる学校種の教科を希望する場合は、「①その他」を記入(演習2⑦および演習3⑥の分科会を記入した場合は、「①学校種と教科名」の両方を記入)
- 注4) 小学校所属の場合のみ、現時点での担当学年を記入してください。(教育委員会所属の指導主事等で、担当する学年がある場合は、記入して下さい。)

※この名簿は、本研修への受講者推薦に際し、使用するものであり、それ以外の目的で使用しません。